

第12回宝塚市子ども議会

質問・要望事項への対応状況について



平成24年（2012年）2月
宝塚市

目次

1 グループ 未来の宝塚	「私たちのくらしの中で気づいた事」	・・・1
良元小学校	6年 東 樹里	
宝塚第一小学校	6年 馬淵 夏帆	
小浜小学校	6年 山本 葵	
長尾台小学校	6年 藤野 真里名	
西谷中学校	3年 平井 嘉津之	
2 グループ わ	「子どもが創る”未来に輝く宝塚”」	・・・3
良元小学校	6年 山口 更	
売布小学校	6年 赤坂 憲吾	
中山桜台小学校	6年 井阪 優希	
中山桜台小学校	6年 田中 美紗	
小林聖心女子学院小学校	6年 永井 莉央	
宝塚中学校	3年 竹内 悠真	
小林聖心女子学院中学校	3年 小林 すみれ	
3 グループ 立ち上がろう日本	「震災への取り組みについて」	・・・6
売布小学校	6年 前田 千結	
雲雀丘学園小学校	6年 成山 大貴	
小林聖心女子学院小学校	6年 日下 多恵	
宝塚第一中学校	3年 長崎 静加	
宝梅中学校	3年 藤本 凱斗	
4 グループ みんなでつくる宝塚市	「私たちの学校」	・・・8
長尾南小学校	6年 椋本 祐輔	
長尾南小学校	6年 河瀬 蓮	
中山桜台小学校	6年 林 美月	
長尾台小学校	6年 浅野 淳弥	
長尾中学校	3年 澤田 優花	
養護学校高等部	3年 江川 晃生	
5 グループ 宝塚の環境考え隊	「さまざまな環境問題について」	・・・10
宝塚第一小学校	6年 田中 裕人	
小浜小学校	6年 播磨 朱音	
仁川小学校	6年 呉島 実優	
仁川小学校	6年 藤原 宗汰郎	
雲雀丘学園小学校	6年 堀江 咲良	
宝塚高等学校	2年 森本 暉浩	
宝塚北高等学校	2年 田畑 有稀	

グループ名	未来の宝塚	テーマ	「私たちの暮らしの中で気づいた事」
質問（提案）・答弁のあらましとその後の対応状況			
質問（提案）： 西谷中学校の教室の木の床がはげているため改善してください。			
答弁： 早急にぬりかえを予定します。			
その後の対応状況： 教室の木の床の整備につきましては、夏休みの間に4階の普通教室2室を再塗装しました。			
質問（提案）： 長尾台小学校の体育館に行くまでの通路には屋根がなく、雨の日には危険なため改善してください。 また、校舎は一度も建替えておらず、地震の避難場所としては適切ではありません。			
答弁： 雨の日には特別教室棟の中をすることで、雨に濡れずに体育館に移動することができるので、学校に対応してもらいます。 また、耐震補強工事を平成25年度に実施する計画としています。			
その後の対応状況： 答弁した内容のとおりです。			
質問（提案）： 西谷や宝塚第一小学校付近には、交通量が多いにもかかわらず信号のないところがあり危険なため改善してください。			
答弁： 西谷の長谷地区については、既に県の公安委員会に信号機の設置をお願いしていますが実現しておらず、今後も要望を続けていきます。 宝塚第一小学校のサンビオラ横の道路については、信号機の設置は難しいですが、市と警察署が連携して安全に通行できるよう取り組んでいきます。			
その後の対応状況： 答弁した内容のとおりです。			

質問（提案）：

良元小学校や小浜小学校付近には、車と歩行者と一緒に通るには道がせまく、危険な道路があるので改善してください。

答弁：

良元小学校付近の市道逆瀬川仁川線は、道路ぞいの住宅や店が建てかえる時に道路幅を広げることや交通量の多い交差点では新たに歩行者の通行スペースが整備できないか調査を行っており、今後どのような方法がよいのか考えていきます。

小浜小学校付近の市道小浜安倉線については、歩行者が安全に通行できるように、自動車にスピードを落として十分に注意してもらえような対策を地域の方々と考えて取り組んでいきます。

その後の対応状況：

良元小学校の^{つうがくろ}通学路となっている、市道逆瀬川仁川線の^{こうさてん よんさろ}交差点(四差路)を中心とした、^{ちけい}地形の^{そくりょう}測量を平成23年内に終え、これをもとに^{よくねんいこう}翌年以降、地域の方などと話し合いを続けながら、歩道の設置を考えた計画をしていきます。

小浜小学校付近での通行車両や歩行者への^{ちゅういかんき}交通安全注意喚起については、^{しょうがっ}地元自治会や^{こうあんぜんたいさくいんかい}学校安全対策委員会と協議・調整しながら、「スピードおとせ」「^{ほこうしゅ}歩行者に注意」等の^{けいはつかんぼん}啓発看板の設置を^{けんとう}検討します。

質問（提案）：

宝塚第一小学校の通学路では、薄暗くて見通しの悪い道や人目のあまりつかない道があります。このような通学路では心配です。

答弁：

現地調査を行い、必要に応じて街路灯の設置やより明るい器具への^{こうかん}交換等を行います。

また、通学路で危険な場所については登下校時に地域の方々に見守っていただくように伝え、通学路については学校とよく相談し、車でのパトロールを強化していきます。

その後の対応状況：

今回ご要望いただきました宝塚南口駅付近の^{ちかどうしゅうへん}地下道周辺の^{がいろとう}街路灯設置につきましては、^{ぞうせつ}増設等を計画しており、現在設置位置を^{とちしよゆうしゃ}土地所有者の^{てつどうがいは}鉄道会社と協議しています。

協議が整いましたらすみやかに^{せっちこうじ}設置工事を行います。

また、通学路については、^{せいしょうねん}青少年センターの^{きょうか}パトロールを強化しています。

グループ名	わ	テーマ	「子どもが創る”未来に輝く宝塚”」
質問（提案）・答弁のあらましとその後の対応状況			
<p>質問（提案）：</p> <p>公園のトイレが汚かったり遊具がつぶれていたり、木々がたくさん生い茂り、腐ってたりしています。早期に修繕をし、みんながいつも楽しく集まれるきれいな公園にしてください。</p> <p>答弁：</p> <p>今後とも使いやすい公園づくりを目指して、市も頑張っています。また、子どもたちが遊びやすい魅力ある公園にするために、皆さんの意見を参考にさせていただきたいので、アイデアをどんどん提案してください。</p>			
<p>その後の対応状況：</p> <p>答弁した内容のとおりです。</p>			
<p>質問（提案）：</p> <p>今は危険だと言うことで子ども達だけで遊ぶ場所が減ってきています。子ども達だけで遊べる運動施設を作ってください。また、作ることが大変でしたら中山桜台幼稚園だった建物など今ある施設を利用して卓球などができるような遊び場を考えてください。</p> <p>答弁：</p> <p>新たな施設の建設には多くの費用がかかることから実現することは簡単ではありませんが、引き続き皆さんの思いに込められるよう頑張っています。</p> <p>現在、中山台地域においては、放課後子ども教室として旧中山桜台幼稚園や公園などを活用した遊びの場を提供しているほか、中山台子ども館では、中山台会館を利用した卓球プログラムを実施していますので、利用してください。</p>			
<p>その後の対応状況：</p> <p>答弁した内容のとおりです。卓球プログラムについては、地域内の小学校でポスターを掲示してお知らせしていますので、ぜひご利用ください。</p>			
<p>質問（提案）：</p> <p>学校がきれいになればみんな楽しく学校に行く気になります。ダスキンのようなプロに掃除を教えてもらえる機会があれば、子どもは楽しくなり、やる気が出ます。</p> <p>答弁：</p> <p>これからも学校をきれいにして、気持ちよく過ごすことができるよう、みなさんもがんばって取り組み、宝塚の学校はいつも掃除が行き届いていると言われるようになってほしいと願っています。</p>			
<p>その後の対応状況：</p> <p>答弁した内容のとおりです。</p>			

質問（提案）：

トライアルウィークについては、大企業だけでなく、市内のいろいろなお店にも経験のために行きたいと思います。会社やお店に対して、たくさんのアンケートをとって私たちが好きな会社やお店に行けるように工夫してください。

答弁：

これからも、みなさんの希望に応えられるよう、より多くの活動場所を見つける工夫をし、みなさんが地域の中で多くのことが学べるように取り組んでいきたいと思います。

その後の対応状況：

市内の各中学校や特別支援学校に「トライやる・ウィーク」推進委員会があり、学校長をはじめ、委員の方々が、毎年、校区内だけでなく市内の多くの事業所で生徒を受け入れていただけるようお願いしています。平成23年度の活動では、過去最高の600箇所を超える事業所で受け入れていただきました。来年度もたくさんの事業所で有意義な活動ができるように、教育委員会としても、市役所内での受け入れについてのアンケートを取るなどしています。

質問（提案）：

今の宝塚市は活気がないです。宝塚のことをもっと知ってもらうために、全国初だとか全国一番という物を作って、そのゆるキャラを使ってPRしたらいいと思います。たとえば、「宝塚歌劇・温泉タワー」という建物を作るなど、工夫してください。

答弁：

活気を取り戻すには、市内で買物をしたり楽しく過ごせるところを市民の方に知っていただき、利用していただくことが一番です。皆さんに買物をしていただいたり、行ってみたいと思える場所がもっと増えるようがんばっていきます。

また、「宝塚歌劇・温泉タワー」という建物を作るというとても夢のあるアイデアを頂きましたが、今後も活気あるまちづくりをするためにいろいろな意見を出してください。宝塚市のPRについては、ゆるキャラではありませんが、サファイア姫をイメージした宝塚市観光大使が、いろいろなところで宝塚市の魅力を全国に伝えていきます。

その後の対応状況：

宝塚市の活気を出すために、宝塚のお店のことをもっと知ってもらうための取組みの一つとして、ケーキやパンのお店が集まり、実際にケーキやパンを食べていただく「おいしいまち宝塚」のイベントを10月12日・13日に行いました。たくさんのお客さまが来られ、今まで知らなかったお店を知っていただく機会になったのではないかと思います。また、2月1日から3月16日までケーキ、パン、和菓子、ランチのお店を紹介するガイドブックをつくってスタンプラリーも行っています。

併せて、宝塚をわくわくするようなまちにする市内の様々な取組みを皆さんに知っていただくため、ホームページやツイッターでお知らせするなど引き続きPRに努めていきます。

質問（提案）：

もっと公立学校と私立学校での交流はできないでしょうか。クラブでの交流はありますが、学校対学校の読書会や宝塚大運動会などをすることで、一体感ができて、友達もたくさんできるでしょう。学校規模での交流の場を増やすように考えてください。

答弁：

学校間の交流については、昨年度から中学校の「英語祭」に私立中学校にも参加してもらいようお知らせしたところ、初めて1校の参加がありました。今回、学校対学校の読書会や宝塚大運動会など、友だちの輪を広げるためのとてもよいアイデアをもらいましたので、今後、音楽やスポーツ、生徒会など、どのような交流ができるかを検討していきたいと思えます。

その後の対応状況：

答弁した内容のとおりです。

グループ名	立ち上がろう日本	テーマ	「震災への取り組みについて」
-------	----------	-----	----------------

質問（提案）・答弁のあらましとその後の対応状況

質問（提案）：

東日本大震災の影響で、被災地の方々は電気、食糧、衣類などたくさんの物が不足している中、私たち子どもにはどのようなことができますか？またどのようなボランティア活動などが行われていますか？

日がたつにつれて関心も薄くなりつつあるため、私たち子どもにも出来るようなことをもっと市で呼びかけてほしいです。

子どもだけでなく、地域の人たちも参加できるボランティア活動など宝塚市で行われる予定があるのか、例えば、どのような事を行うかなどを、くわしく知りたい。宝塚市で被災地のためにどのような事をしたか、集められた義援金の使い道などの情報をもっと公開してほしいです。

答弁：

宝塚市では東日本大震災が起きたその日から緊急消防援助隊、給水活動、炊き出し支援隊、子どもの心のケア、被災生徒スポーツ交流等の支援活動を行いました。また、市民の皆様からの支援物資として防寒着や衣類、食料を募り被災地にお送りしました。みなさんからいただいた応援メッセージや寄せ書きも支援物資などと一緒に被災地へ持って行き、大変喜んでいただきました。被災地では、瓦礫の片付けや泥の除去などもまだまだ残っているため、ボランティアの皆さんを募り、宝塚希望応援隊として派遣しています。

今後も引き続き、どのようなニーズがあるかも聞きながら支援を続けていくので、皆さんのお力を借りて行っていきたいと思います。

義援金については市役所庁舎内の窓口や各サービスセンターなどに募金箱を設置し、市民の皆さんから寄せられた義援金は、日本赤十字社に送金し、日本赤十字社から被災地に送られることとなっています。7月末現在で760万円を送金しています。

この他に、市からの見舞金や職員の義援金が2,330万円、また、自治会を通して、1,995万円余りの義援金が集まりました。これらは福島県須賀川市、宮城県仙台市と南三陸町、岩手県大船渡市と大槌町などにお届けしています。

その後の対応状況：

皆さんには、子どもだけにしかできないことがあると思います。それは子ども同士のふれあい、こころのお付き合いだと思います。応援メッセージや寄せ書き、文通などを通じて、被災地の子どもとこころの絆を作っていただければと思います。それには学校間の交流から始めることが一番の方法と思います。

どんな方法にしても、皆さんが学校や地域で元気に過し、勉強に励んでいる姿を、被災地の人達に届けることが、一番大きな支援、元気、勇気を与えることになると思いますので、学校などを通じた様々な交流と絆を深めていただくよう応援していきます。

また、義援金については、受付を平成24年3月23日まで延長することとしています。平成24年1月末日までで総額9,760,437円をお寄せいただき、そのうち976万円を日本赤十字社に送金しています。本件につきましては、市のホームページに掲載いたしておりますので、ぜひご覧ください。

質問（提案）：

宝塚市では節電をどのように実施しますか。この質問の理由は、原発事故によって電力不足の中、宝塚市ではどのような計画があるのかをくわしく知りたいからです。

答弁：

市役所では6月22日から9月30日までの期間を「エコオフィス2011夏」と名付け、室内温度を28度設定とする空調運転や、廊下などの共用部分に使用している蛍光灯の約3分の2を消灯しています。また、4基あるエレベーターのうち1基を停止するなど、節電に努めており、この1ヶ月間で、前年の同時期の電気使用量と比較して、平日で約6.1%の節電効果を上げることができました。

また、ご家庭や事業所においても取り組んでいただくよう啓発をしています。併せて、今年6月に尼崎市と篠山市の3市で関西電力株式会社に対して段階的に原子力発電から脱却することなどを求める要望書を提出するといった取組みも行っています。

その後の対応状況：

「エコオフィス2011夏」の取組みにより、昨年度に比べ、使用電力量で、9.1%の節電を達成することができました。また、使用電力料金では、夏季の契約単価である1キロワットアワー（kwh）あたり12円として計算した場合、約64万円の削減となりました。

質問（提案）：

学校などの公共施設などに太陽光発電を取り付ける事と、人の集まる場所だけでも電気をLEDライトなどに変えることを提案します。

答弁：

現在、仁川小学校、長尾小学校、御殿山中学校、山手台中学校の4校に太陽光発電を取り付けており、今後も新築時または増築時に設置するよう前向きに考えてまいります。

LEDライトは、節電効果が期待でき、環境にやさしい商品として注目されていますが、電球や蛍光灯の数倍の値段がします。このため、市内の幼稚園や学校の蛍光灯をいっせいにLEDライトに交換するのは、費用の面から難しいと思います。しかし、市では、新しく中学校の武道場などでこのLEDライトを取り付けるなど、導入を進めていますので、今後、これらエコ商品を上手に使い、環境にやさしい学校施設づくりに努めたいと考えています。

また、これまでは東公民館や安倉西身体障害者支援センターで白熱電球をLED電球に変えたほか、街路灯も昨年度に引き続きLEDへの取替えを実施する予定です。これからも、施設の改修等にあわせてLED電球に付けかえていくようにしたいと考えています。

その後の対応状況：

答弁した内容のとおりです。学校への太陽光発電の設置については、今年度は、宝塚第一中学校の新築校舎に太陽光発電装置を取り付けました。

グループ名	みんなで作る宝塚市	テーマ	「私たちの学校」
質問（提案）・答弁のあらましとその後の対応状況			
<p>質問（提案）：</p> <p>長尾台小学校の意見は、「教室のテレビについて」です。今のテレビは古くて小さく、後ろの人が見にくく、学習で使うDVDも見られないので、DVD一体型のテレビに交換するかDVDプレーヤーを設置してください。</p> <p>答弁：</p> <p>DVD一体型の大型デジタルテレビの設置については高額であるため、すべての学校に設置することは難しく、今のところは、大型デジタルテレビやDVDプレーヤーを学校の各階ごとや学年ごとに設置するなど、少しでも利用しやすいように検討していきたいと考えています。</p>			
<p>その後の対応状況：</p> <p>現在、DVDが再生できる電子黒板やパソコンとつないでいるんなソフトが使えるE黒板（イーコクバン）など、皆さんが勉強しやすいような機械の導入を検討していますが、今のところは、すでに学校に設置している50インチのテレビを活用して欲しいと思います。DVDプレーヤーについては、学校でも購入してもらっていますが、少しでも多く設置できるよう考えていきます。</p>			
<p>質問（提案）：</p> <p>長尾南小学校の意見は、「学校の冷暖房について」です。全館一斉のため各教室での温度調節が全く出来ないし、両端の教室はほとんど効かず授業に集中できないので個別の冷暖房に変えてほしいです。個別の冷暖房は、節電にもなります。</p> <p>また、「運動場の水はけについて」も意見があります。雨がたくさん降ると、水はけが悪く、雨がやんでも水溜りが残ってしまい、何日も外で遊べないので、水はけの良い運動場の土と変えてください。</p> <p>答弁：</p> <p>各教室ごとに温度や風量を調整することができる個別空調方式へ切り替えたいと考えており、平成27年度に切り替え工事を計画しています。</p> <p>運動場の水はけについても、平成27年度の耐震改修工事等が終了した段階で、早期に改修できるよう計画してまいります。</p>			
<p>その後の対応状況：</p> <p>答弁した内容のとおりです。</p>			

質問（提案）：

養護学校の意見は、「養護学校の施設改善について」です。教室の水道からお湯も出るようにしてください。学校の中を車椅子で自由に散歩できるようにしてください。僕たちは、トイレにすごく時間がかかるので、トイレにエアコンをつけてください。

答弁：

教室の水道からのお湯については、学校と相談し、必要に応じて整備していきます。

車椅子で自由に散歩できるようにとのご要望については、夏休み中に整備したいと考えています。

トイレにエアコンをというご要望については、中棟のトイレのスポット型クーラーが十分に機能していませんので、速やかにエアコンを設置していきます。

その後の対応状況：

答弁した内容のとおり全て夏休み中に完了しました。

質問（提案）：

中山桜台小学校の意見は、「学校の雨もりについて」です。教科書がびしょびしょになってしまいました。滑ってこけてしまい危険なのではやく修理してください。

答弁：

夏休みに入って直ぐに、雨水が進入してきたと思われる廊下の窓枠廻りの修理を行いました。その場所が雨漏りの原因となった場所であったのか確認するため、現在、様子を見ている状況です。

その後の対応状況：

答弁した内容のとおりです。

質問（提案）：

長尾中学校の意見は「運動場の整備」です。長尾中は宝塚一のマンモス校で体育大会をするにも運動場が狭すぎて保護者が全員入りきれません。そして、今一番不便なのは部活が十分に出来ないことです。運動場の整備をお願いします。

答弁：

教室不足対策として仮設校舎を運動場に建設しているため、体育大会でも保護者がゆったりと見学できるスペースが確保できていないのが現状です。

しかし、運動場を拡張しようにも、隣接地が病院、民家及び道路のため買収できる空地がありませんので、部活動についても限られた運動場の範囲内で譲り合って取り組んでいただきたいと思います。

その後の対応状況：

答弁した内容のとおりです。

グループ名	宝塚の環境考え隊	テーマ	「さまざまな環境問題について」
質問（提案）・答弁のあらましとその後の対応状況			
<p>質問（提案）：</p> <p>マンションなどを建設する際は、できるだけ木々を残してもらい、生き物の生活場所が減らない様な環境に良い形で建設してもらいたい。</p> <p>答弁：</p> <p>市内の14の地区では、市と地域の皆さんが協力して、緑を守る取組みを行っています。特にマンションを建設するときは、マンションの周囲に空き地をとってできるだけ木々を残すよう導いています。これらの木々は生き物の生活の場でもあることから、さらにこういった取組みを進め、まち全体が緑豊かになるように努力していきます。</p>			
<p>その後の対応状況：</p> <p>答弁した内容のとおりです。</p>			
<p>質問（提案）：</p> <p>ゴミがたまる様な場所に、ゴミ箱の数を増加してゴミが溢れるのを防止し、かつ設置場所も増加してほしい。</p> <p>また、ペットボトルのキャップが子どもの命を救うということが理解してもらえる様にゴミ箱に呼びかけの言葉をのせ、ペットボトルのキャップ用の場所を備えた新しいペットボトル用ゴミ箱を設置してください。</p> <p>答弁：</p> <p>今、宝塚市では、「リデュース」、「リユース」、「リサイクル」の3R運動を進めることで、環境にやさしく、ごみのない社会を目指しています。</p> <p>市では、ごみの量を減らしていく取組みを進めていることから、現在、設置しているごみ箱についてもできるだけ無くしている状況であり、ごみ箱の設置は難しいと考えております。</p> <p>また、新たにペットボトル用のごみ箱を設置することについても困難ですが、ペットボトルキャップの運動は、素晴らしい取組みですので、市としてもPRしていきます。市内でもNPO法人「女性と子どものエンパワメント関西」などが活動されており、収集場所もこの市役所以外でも、男女共同参画センター、カルチェ・ヌーボー宝塚逆瀬川（旧アピア3）などに設置されていますので活用してください。</p>			
<p>その後の対応状況：</p> <p>答弁した内容のとおりです。</p>			

質問（提案）：

世界では自転車専用道路を作ることで、たくさんの方が短い距離の移動手段に車ではなく自転車を使用してもらい、排気ガスを減少することが可能となるという取り組みをしています。宝塚でもできませんか。

答弁：

自転車が専用で走れる道路をつくるには、一定の幅が必要となり、現時点では、自転車専用の道路を整備することは難しいと考えています。

自転車駐車場の運営や自転車と歩行者が共に通行できる歩道の設置など自転車を利用していただけのような取り組みや、自転車教室を開催するなど、安全面での取り組みを引き続き進めていきます。

その後の対応状況：

最近、自転車の交通安全が注目されており、自転車専用道路についても話題になっていますが現時点では整備することは難しい状況です。

自転車が通行可能な歩道も、今後、歩道幅が3メートル以上と改正される方向であり、宝塚市内では該当する歩道は大変少ない状況です。

そのため、長期的な道路整備の他に、警察署等と協力して、自転車利用者に対して学校や地域での交通安全教室の開催や街頭での自転車の交通ルールとマナーの普及に引き続き努め、自転車が利用しやすくなるような取り組みをしていきます。

なお、排気ガスを減少させる取り組みとして、以前から、ノーマイカーデーを実施しています。これは、できるだけ通勤や通学での自家用自動車の使用を控えていただき、電車やバスなどの公共交通機関を利用していただくことで、排気ガスの発生を削減しようとするもので、「毎月20日はノーマイカーデー」として呼びかけを行い、市民の皆さんにもご協力をお願いしています。